

## 県内トップレベルの がん治療環境へ

日本は超高齢社会となり、がんは2人に1人が患う疾患となりました。当院は地域唯一の公的総合病院として、地域でしっかりとがんの治療が出来る環境づくりの強化に取り組み、現在では県内でもトップレベルの人材と設備を整えることができたと自負しております。

## 総合病院での がん治療のメリット

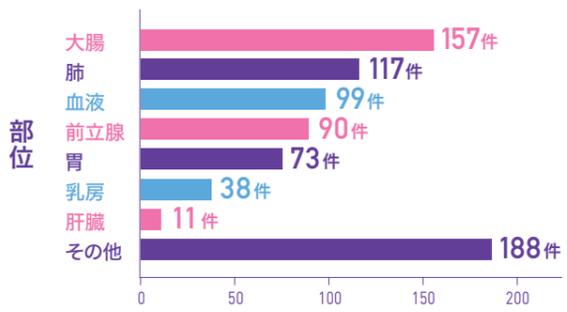
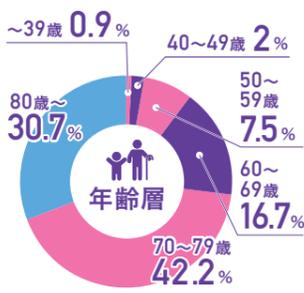
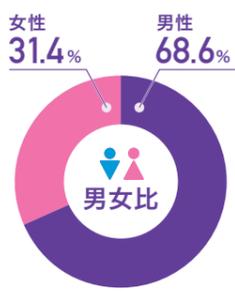
がん治療を受ける多くの患者さんはがんだけでなく、高血圧、糖尿病、心臓病、脳卒中後遺症など、多くの持病（併存疾患）を抱えていることが少なくありません。また、がん治療中にがんとは別の合併症を発症したり、もともとの持病が悪化することもあります。そのような場合、がん治療のみに特化した専門病院では、がん治療を一時中断し、別の病院でがん以外の合併症の治療をしてからでないと、がん治療を再開できないことがしばしばあります。当院では、持病を持った方、がん治療の過程で合併症を発症した方に対しても、がん治療科以外の各診療科が入院中に適切な治療を行い、がん治療を完了できるように力を合わせています。これは、総合病院でがん治療を受ける最大のメリットであり、専門医が揃った当院の強みであると考えております。

企業長 新井 昌史  
院長 松本 正弘

## データで見る当院のがん治療

2021年度実績

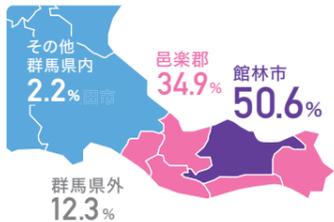
がん登録件数 773件



### がん治療実績

### 地域

- 手術（内視鏡含む）  
323件/年
- 化学療法  
1,843件/年
- 放射線治療  
3,669件/年



当院が力を入れている



公共交通機関をご利用の方  
東武伊勢崎線「館林駅」下車、徒歩10分

お車でお越しの方  
東北自動車道「館林IC」より20分

邑楽館林医療企業団  
公立館林厚生病院

〒374-8533 群馬県館林市成島町262-1

TEL 0276-72-3140

<http://www.tatebayashikoseibyoin.jp/>

病院ホームページはこちら→



Tatebayashi Kosei General Hospital  
5 SPECIALITIES

邑楽館林医療企業団  
公立館林厚生病院



# 01 がん治療

持病をお持ちの方にも  
がん治療を安全に

## 当院のがん治療 5つの特徴

### Point 1 経験豊富な 専門医が在籍

呼吸器、消化器、泌尿器、血液、脳など、がん治療の経験豊富な専門医が各診療科に在籍。

### Point 2 充実した 検査・治療設備

的確な診断を行うための検査設備と、がんの治療に必要な治療設備を完備。また、2023年度には手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を導入。

### Point 3 トップレベルの 3大がん治療環境

がんの3大治療である、外科的治療（手術）・内科的治療（抗がん剤、免疫療法）・放射線治療、全てにおいて県内トップレベルの経験と実績。

### Point 4 複数疾患への 総合的医療の提供

総合病院のメリットを活かし、複数疾患を抱えながらがんの治療を行う方へ、各診療科専門医が連携し総合的な医療を提供。

### Point 5 最期まで 責任を持って

「当院で治療が出来て良かった」と思っていただけ、職員が一丸となって最善を尽くします。



# 呼吸器

呼吸器外科部長  
外科副センター長

野内 達人

日本外科学会認定 外科専門医  
ICD (インフェクションコントロールドクター)  
医学博士



内科  
呼吸器内科部長

神宮 浩之

## 患者さんのニーズに迅速に対応

呼吸器内科と外科の専門医が連携して、肺がんの診療を行っています。まずは、内科の専門医が超音波気管支内視鏡などを使用して検査を行い、がんと診断された場合は、呼吸器内科・外科、放射線治療の専門医が多角的に治療方針を検討いたします。手術が適応となる患者さんは、当院の呼吸器外科にて手術いたします。群馬大学の医師と連携しており、大学レベルの手術を提供しております。また術後のQOL(生活の質)が低下しすぎないように、患者さんの体力やお持ちの持病などを総合的に勘案し、患者さん、ご家族の皆様と相談しながら治療を進めてまいります。

肺がん

# 血液

内科  
血液・腫瘍内科部長

小林 一彦

## 血液がんへの専門的治療

群馬県東毛および埼玉県北部地域には、血液がんの専門的治療を行う医療機関が少ないため、安定的に過不足ない血液医療を提供することが当院の重要な役割です。患者さんの病態やご要望に合わせ、抗がん剤や放射線などの組み合わせを提供しております。

白血病

悪性リンパ腫

多発性骨髄腫

# 消化器

副院長  
消化器外科部長  
外科センター長

堤 裕史

日本外科学会認定 外科専門医  
日本消化器外科学会認定 消化器外科専門医・指導医・  
消化器がん外科治療認定医 臨床研修指導医  
医学博士



内科  
消化器内科部長

有賀 諭生

日本内科学会認定 総合内科専門医  
日本消化器病学会認定 消化器病専門医  
日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡専門医  
日本膵臓学会認定指導医 日本胆道学会認定指導医  
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医  
医学博士



## 消化器専門医によるがん治療

消化器は食道～大腸まで領域が幅広いですが、地域で治療が完結できるよう、消化器内科専門医、消化器外科専門医が連携し、24時間体制で内視鏡治療を含む、消化器医療を提供しております。

## 胃・大腸はもちろん肝・胆・膵まで

がんの中で多くの方が罹患される胃がん、大腸がんはもちろん、地域でも数少ない肝臓がん、胆道がん、膵臓がんの治療経験が豊富な専門医も在籍しております。内視鏡の検査・治療においては、内視鏡専門医が中心となり、ESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)や、膵臓がんにおける超音波内視鏡下生検、黄疸に対する内視鏡治療などの専門的な検査・治療を行っております。手術では腹腔鏡による低侵襲手術、抗がん剤や放射線治療など、病態に応じて適切に対応いたします。

胃がん

肝臓がん

胆道がん

膵臓がん

大腸がん

# 泌尿器

副院長  
泌尿器科部長

中村 敏之

日本専門医認定医機構 泌尿器科専門医  
がん治療認定医機構 がん治療認定医  
日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会  
泌尿器腹腔鏡技術認定医  
日本緩和医療学会 緩和医療認定医  
日本透析医学会 透析専門医  
医学博士



## 経験豊富な泌尿器科専門医が対応

当院の泌尿器科は、がん治療に対して、腹腔鏡手術や尿路内視鏡手術による低侵襲治療、各種薬物療法(抗がん剤・免疫治療)、放射線治療、緩和医療等を経験豊富な専門医が提供しています。治療効果や安全性が確認され、医学的に最も推奨される「標準治療」を、泌尿器がんに対して提案するとともに、ご本人やご家族と十分に相談しながら病態やご本人の要望に沿った治療を施行しています。また、透析が必要ながん患者さんにも当地域内で治療ができるよう各科専門医と連携し、泌尿器科の透析専門医が透析診療を行っています。

邑楽・館林地区の唯一の公的病院泌尿器科として、排尿障害等の身近なお困りごとから、最新のがん診療まで、この地域の中で治療を完結するため、また標準治療を提供するために、日頃の研鑽と治療機器の充実にこれからも取り組んでまいります。

なお、がん以外の泌尿器科領域でも「腎盂尿管移行部狭窄の腹腔鏡下腎盂形成術」は近隣の県からも、そして「経皮的腎尿管結石砕石術」は近隣医療機関からも紹介受診いただくほど経験は豊富です。

## 2023年度 ダ・ヴィンチ導入

2023年度に手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を導入します。この事により、手術的治療の選択肢を増やすことで、より良いがん診療が提供できると考えております。

前立腺がん

膀胱がん

腎がん

腎盂尿管がん

精巣がん

陰茎がん

## 3大がん治療を組み合わせ 患者さんのニーズに沿った医療を 提供いたします

### 外科的治療(手術)

手術ではがんが発生した部位(原発巣)や、リンパや臓器など転移した部位(転移巣)を取り除きます。体を切開する方法だけでなく、内視鏡や腹腔鏡などを使用した体への負担が少ない低侵襲の手術も、経験が豊富な専門医が積極的に行っております。

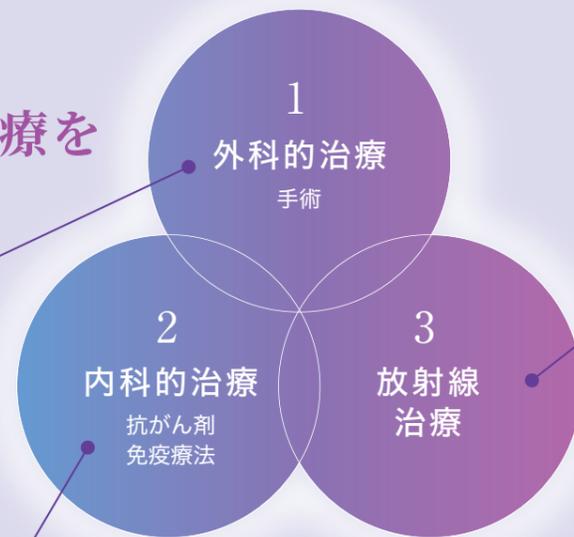
初めて手術をされる方は不安も大きいと思いますので、しっかりと説明を行うと共に、不安や疑問があればどのような事でも遠慮なくお話しいただき、一緒に治療を進めてまいりたいと考えております。



内視鏡手術



腹腔鏡手術



### 内科的治療(抗がん剤、免疫療法)

抗がん剤治療は化学療法とも呼ばれ、技術の進歩とともに、治療効果も高まっています。抗がん剤治療はがん病巣を破壊して完治を目指すだけでなく、手術前に投与することで切除しやすくなり、術後の転移や再発を防ぐことを目的として使用されることもあります。

抗がん剤治療は様々な副作用が出現することがありますので、しっかりとご説明させていただき、十分にご理解いただいた上で、一緒に立ち向かっていきましょう。

(免疫療法は、がん細胞を攻撃する免疫の働きを向上させる治療方法です。)



化学療法室

# 放射線治療科

放射線治療科部長

青木 徹哉

日本医学放射線学会認定  
放射線治療専門医  
日本放射線腫瘍学会認定  
放射線治療専門医  
医学博士  
臨床研修指導医



## 充実した2名の放射線治療専門医体制

がん患者さんの高齢化により、放射線治療のニーズは高まっています。当院では、検査結果に基づく治療方針の策定から放射線治療専門医が関わることで、手術、内科的治療、そして放射線の3つを効果的に組み合わせた治療を提供しております。専門医2名体制により、腫瘍の形状に合わせた放射線治療を行う「強度変調放射線治療」を行っている他、放射性物質を体内に取り込ませて照射するRI内用療法も実施しております。

## 症状に合わせた治療をご提供いたします

放射線はがんの根治を目指すだけでなく、痛みや痺れ、止血等を目的とした緩和照射も大切な役割です。手術後の術後照射を含め、外来で継続的に放射線治療を行う場合、遠方に通い続けることも大きなご負担になると思いますので、地域の方は是非当院にご相談いただきたいと思っております。

## がん治療への不安に寄り添った医療を

放射線治療の技術は近年大きく進歩し、がんの治療において重要な役割を担っております。しかし、放射線治療はあくまで治療手段のひとつであり、私たちの目的は「患者さんのための医療を提供すること」であると考えております。不安や希望があれば遠慮なくお話しいただき、より良い治療と一緒に考え進めていきたいと思っております。